

PDF/Aの利点

PDF/A規格は、広く普及しているPDFのフォーマットを元に、アーカイブに適したドキュメントを作成するための条件を定義しています。PDF/AはPDFの豊富な機能に加え、長期アーカイブのために必要となる信頼性および一貫性を兼ね備えています。

PDF/A — 明瞭で再現性の高いPDF

PDF/Aのファイルには、同一の表示内容を再現するために必要となる全ての情報が含まれています。表示内容を変えてしまう可能性のある情報は含まれません。

TIFF G4やJPEGよりも高機能でコンパクト

ラスタフォーマットではページの全内容をピクセルとして格納していますが、PDF/Aでは文字はフォントベースで格納されているため検索が可能です。また、スキャナーで取り込んだページの後ろに、不可視のレイヤとしてOCRで読み込んだ文字を配置することにより、スキャニングした内容をそのまま保持しつつ、かつドキュメントの内容を検索可能にできます。

アプリケーションプログラム固有のファイルよりも一般的

アプリケーションプログラムのファイルは通常、オープンや表示のために専用のアプリケーションが必要となります。PDF/Aの場合は、プラットフォームに依存しないプログラムが一つあるだけで充分です。

デジタル署名PDF/A

PDFファイルフォーマットでは、ファイル内部（埋め込み）に署名することができます。PDF/A標準は電子署名を可能としており、電子署名のために必要とされる最小限の条件を満たすように適用します。その結果、PDF/AのドキュメントはPDF/A準拠レベルおよびその利点はそのままで、明確かつ確実に電子署名が可能となります。この機能は将来的に導入される可能性のある、新しい署名方式に対応するよう拡張が可能です。



PDF/Aコンピテンシーセンターのメンバーへのサービス

PDF/Aコンピテンシーセンターは、PDF/Aを利用するPDFソリューションの開発者、ソフトウェアのサプライヤ、コンサルティング会社、PDF/Aをビジネスや公共部門で利用することを検討しているユーザを主に対象としています。

PDF/Aコンピテンシーセンターのメンバーになる利点

- メンバーのビジネスやソリューション、製品を、PDF/AコンピテンシーセンターのWebサイトに載せることが可能
- PDF/Aコンピテンシーセンターのロゴを利用することで、マーケットでの認知度が向上
- 定期的に発行される、PDF/Aコンピテンシーセンターからのプレスリリースでの共同声明による利益の享受
- ジャーナリストや雑誌社へ直接コンタクト可能
- 内部の技術フォーラムで、経験豊富なPDF/Aの専門家へ直接コンタクト可能
- 内部の全ドキュメントとワーキングツールの利用
- ISO標準のこれからの開発に影響を及ぼすことが可能
- テクニカルワーキンググループへの参加
- メンバーのPDF/Aソリューションの品質評価のサポート
- PDF/A準拠の相互テスト
- PDF/Aのカンファレンスやセミナーへの関与
- 展示会での共同ブース

連絡先情報:

PDF/A Competence Center
c/o LuraTech Europe GmbH
Kantstr. 21 | 10623 Berlin | Germany

Tel.: +49 30 394050-0
Fax: +49 30 394050-99
E-mail: info@pdfa.org
Homepage: www.pdfa.org



www.pdfa.org

長期アーカイブのための新しいISO標準のPDF/Aは、マーケットで非常に注目を集めてきています。PDF/AコンピテンシーセンターはPDF/Aに関する情報への強い要望に答え、アイデアや情報の交換を促進するための団体として設立され、PDF/Aの多くの専門家の知識を結集した成果を入手することができます。当団体ではイベントやセミナーの実施、標準化へのさらなる貢献を行っており、PDF/Aに関するあらゆる疑問点への総合窓口となります。

PDF/A標準とその目的

PDF/AはPDFフォーマットを電子ドキュメントの長期アーカイブに適したものとするためのISO標準で、2005年10月1日に「ISO 19005-1: Document management -- Electronic document file format for long-term preservation -- Part 1: Use of PDF 1.4 (PDF/A-1)」〔(日本語仮訳: ドキュメント管理—長期保存のための電子ドキュメントファイルフォーマット—第1部: PDF 1.4 の使用(PDF/A-1))〕として公開されました。

PDF/A標準は世界中の色々な組織の代表やメンバーによる3年以上の共同作業の成果です。ISO 19005-1では、PDF/Aとして知られているPDFフォーマットを元にしたファイルフォーマットを定義しており、電子ドキュメントを長期に渡り同一の表示内容を再現し、作成・保存・処理したツールやシステムに依存させないための仕組みを提供しています。PDF/A標準では、アーカイブの方法やアーカイブするシステムの目的については定義しません。電子ドキュメントが将来においても再現可能なことを確実にするための要件等について説明しています。

PDF/Aが近いうちに、電子ドキュメントのアーカイブのための標準として受け入れられる可能性は高いです。PDFフォーマットおよびPDFを作成・表示・処理するために必要となるソフトウェアは世界中の公共部門や民間企業で使われており、多くの場所で強固で柔軟性のあるフォーマットであると認知されてきています。PDF/A標準は長期間が経過した後もPDFドキュメントに確実にアクセスできることを保証しているため、ドキュメントの長期アーカイブのための優れたフォーマットです。

PDF/Aの応用分野

PDF/Aは印刷可能なあらゆる電子ドキュメントや、スキャニング可能な非電子文書のアーカイブに利用できるため、PDF/Aの利用は多くの場所で非常に実用的なものとなっています。以下の例は、PDF/Aが既実装されている、あるいは実験プロジェクト等における事例を挙げたものです。

受信メール

会社に届く受信メールが普通の郵便、FAX、電子メールのどの形式であっても、適切に保存しなければなりません。電子的にアーカイブを行うためには紙のドキュメントはスキャニングする必要がありますし、電子メールおよび添付ファイルは保存に適した適切なフォーマットに変換する必要があります。PDF/Aを元にした統一的なインフラは最良の物となります。

送信メール

送信するメールのアーカイブも、受信したメールと同様です。外部に送る紙の郵便物であっても、信頼できる電子フォーマットで保存することが可能です。マーケットに出回っている印刷物のコンバータは、既にPDF/Aフォーマットをサポートしています。

工学デッサン(CAD)

通常CADでは、単に中身を参照するだけでも専用のソフトウェアを必要とします。PDF/Aへと変換することにより、標準的なソフトウェアだけで表示することができるようになり、また何年か経過した後も表示や印刷が可能であるという安心感を得られます。

科学的分野

既にいくつかの大学では、可能であれば各論文をPDF/Aフォーマットで提出することを要求しています。

アーカイブのマイグレーション

アーカイブに関する多くの専門家は、色々な理由により現在のアーカイブのインフラ基盤に満足していません。さらに法的規則ではアーカイブされたドキュメントに対して、新しい要求を求めています。いくつかの企業では既に数多くの(いくつかのケースでは極めて多量の)アーカイブのPDF/Aへのマイグレーションを始めています。

業界

電子ドキュメントの長期アーカイブは、主要業務が多岐にわたる場合であっても優先順位の高い課題です。下記にいくつかの業界における要件を挙げます。完全なリストではありませんが、読者の業界でPDF/Aが長期アーカイブのためにどのように役立ち、有意義なものであるかを示すことができるかと思えます。

銀行および保険

クレジットや保険関連のファイルは50年以上必要となることが多々あります。PDF/Aを元にした電子アーカイブは、新しくアーカイブされるファイルだけではなく、既存のドキュメントに対しても、ますます注目されてきています。標準化されているPDF/Aのフォーマットには、再現性があり、また検索が可能である、という有益な利点を提供しています。

企業

エンジニアリングの分野は、長期アーカイブの候補として最適です。例えば橋、飛行機、機械のCADデータは法律によって最長で99年間保存する必要があります。また、ドキュメントの多数の版をアーカイブする必要があるかもしれません。

出版業者

PDF/Xはプリプレスや処理行程でのドキュメント交換フォーマットの標準として、何年も前に確立されています。また、PDF/XのファイルはPDF/Aのファイルとしてもセーブすることが可能なため、出版物が処理工程後に長期アーカイブされる時には、実用的な組み合わせとなります。

公共部門および政府

この分野でのPDF/Aの使用は、公的機関や政府機関の性格に非常に依存します。PDF/Aはデジタル化した記録を保持する必要のある機関で適用することが可能です。典型的な例としては、提案書、構造記録、通告などです。